

## コロラド派遣事業に参加して

明見中学校 松本 洸洋

アメリカのコロラド州へ9日間留学して、様々なことを学びました。最初は、外国人と上手く話せるか不安を抱いてしまいましたが、実際は落ち着いて話しをすることができたので良かったです。

滞在中に一番心に残っているのは、ホームステイです。ホストファミリーはとても親切で、日本語と英語を使い分けて話してくれました。何か困ったことがあったらすぐに相談できる環境であり、大変助かりました。心優しいホストファミリーと過ごした時間はずっと忘れません。ステイ中の自由行動では、ハイキングや動物園に連れて行ってもらいました。日本とは全く違う景色が見られました。一日一日がとても楽しく、時間が過ぎるのが早く感じられました。とても充実した5日間だったなと思いました。外国人と関わる時に、恥ずかしがらずにコミュニケーションに挑戦する力を身につけられたことが一番の成果です。

デンバーでは、デンバー水族館や16番通りへ行きました。水族館では、日本では見られない様々な魚の特徴などを知りました。一番感動した魚は、レッドベリーピラニアです。普通のピラニアとは違って、あごから腹部にかけて美しいオレンジ色に染まっているのです。このように、日本では見られない個性的な魚がたくさん観賞できました。16番通りでは、たくさんお土産を買いました。困ったときは周りにいる外国人に進んで話しかけることができました。英会話がスムーズに通じたときはうれしかったので積極的に話す自信をつけることができました。コロラドの方々はみな、とても親切だったので、あらためて現地の人にあたたかさを感じました。

日常生活において日本とは違うなと思ったことは、入浴の方法です。アメリカでは、ユニットバスがメインで、お風呂にお湯を溜めて入る習慣がないことです。毎日シャワーだったので時間短縮にはなりましたが、私はお風呂の方が疲れがとれるのでいいと思いました。また、靴のまま家の中に入ることが日本と違いました。慣れていないので、とても抵抗がありました。他の国では、お風呂や靴の習慣がどうなっているのかがとても気になったので調べてみたいです。交通の面では、バスが無料で乗り放題にはとても驚きました。富士吉田市にもタウンスニーカーというバスがあります。生活の面でとても便利で助かっています。また、車については日本とは全く逆で左ハンドルの右側通行で違和感と恐怖心を抱きました。信号も、日本は横ですがアメリカは縦でした。食事面では、「いただきます」「ごちそうさま」の挨拶がありませんでした。キリスト教では挨拶があるみたいですが、普通の家庭では全くしません。ホストファミリーはたまに、日本の挨拶をしてくれて心が和みました。その他にも全てとっていいほど文化の違いを感じ、色々な国にも興味が沸き行ってみたいと思います。

コロラド州に行く機会があったら、ぜひホストファミリーの家へ遊びに行きたいし、日本へ遊びに来たときにはたくさんの経験をしてもらいたいと思いました。また、多くの外国人の方が日本へ観光に来ています。日常生活の中で積極的に話しかけ、日本の素晴らしさを伝えていきたいです。私は、積極的に取り組み、仲間と協力して過ごし、9日間で大きく成長したと思いました。とても素晴らしい経験ができました。富士吉田のみなさんに感謝です。